

雲南市の公共施設管理に関する現在までの取り組み

○今までの取り組み

雲南市では「公の施設改革推進方針」をはじめ、公の施設関連の方針を策定し取り組みを行ってきました。

これらの方針に沿って平成18年度から現在まで56施設の公の施設（庁舎・学校等除く）について見直しを行ってきました。

種別	見直し方法	施設数	備考
集会施設	譲渡	20施設	すべて地元自治会へ譲渡
貸館施設	集約化	3施設	交流センター整備にあわせ集約化
畜産施設	廃止	2施設	
温浴施設	集約化	2施設	3施設を集約化
福祉施設	譲渡	3施設	管理福祉法人へ
保育所施設	廃止	1施設	保育所統合により廃止
住宅施設	廃止	2施設	
体育施設	廃止	3施設	
ホール施設	廃止	1施設	
その他	廃止	19施設	駐車場、教員住宅等
計		56施設	

これらの施設について取り組んだ結果、延床面積で約23,000㎡の縮減が図られました。

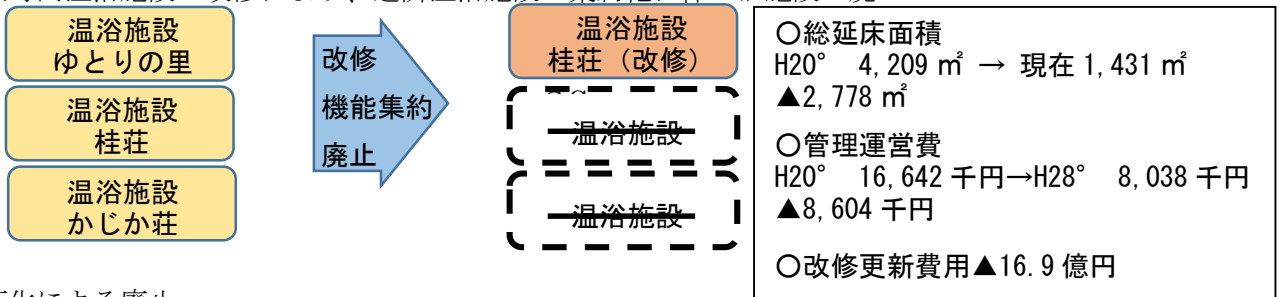
また、これらの施設の改修・更新費用を推計（総務省ソフト）してみると126.2億円となり、将来費用の縮減も図られました。

《主な取り組み》

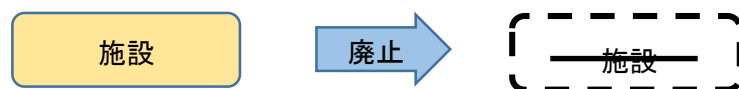
- ・掛合町内の交流センターと旧学校施設（貸館施設）の集約化に伴い旧施設の廃止



- ・大東町内温浴施設の改修により、近隣温浴施設の集約化に伴い旧施設の廃止



- ・老朽化による廃止



- ・集会施設の地元自治会への譲渡



○現在の状況

しかし、現在の行政財産の保有量は約394,000㎡で旧町村の台帳統合後の平成24年度の保有量約374,000㎡から20,000㎡増加しています。

この近年の増加の主なものとしては平成25年度の定住促進住宅（3団地）の取得、平成27年度の新庁舎の建設があげられます。

近年の状況に限らず、今までの取り組みにより施設の廃止、譲渡等の処分も進められてきましたが、市民の皆さまの生活環境の確保、行政、市民サービスの提供のために必要であるという判断のもと整備が行われてきました。

○今後の取り組みについて

今後も引き続き、「公共施設等総合管理計画」の方針である「保有量、配置の適正化」「維持、管理の適正化」を実現し、目標の達成に向けて長期的に取り組んでいきます。

そのためには、今までの取り組みをさらに具体化し、確実に実施していく必要があります。

併せて、「公共施設等総合管理計画」の考え方にに基づき、廃止、譲渡のみでなく、機能の集約化、複合化など、利便性、サービスの向上も図りながら、必要なものは長く使うといった考えのもと、必要性について十分な検討を行い、効果的、効率的な配置によりさらに取り組みを推進していきます。